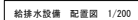


福井県立大学かつみキャンパス給水装置改修工事

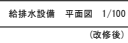
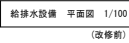
M- 00	表紙・図面リスト		
M- 01	機械設備工事 特記仕様書1		
M- 02	機械設備工事 特記仕様書2		
M- 03	給排水設備 配置図・付近見取図・機器表・ 1階平面図(改修前・後)・凡例		
M- 04	電気設備工事 特記仕様書1		
M- 05	電気設備工事 特記仕様書2		
M- 06	電気設備工事 平面図		



□ 工事概要
・栽培漁業センター屋外に井水送水ポンプを新設し、地下井水槽より井水をつき上げ、飼育実験棟内機械室に新設する受水槽へ給水する。
新設受水槽より、既設加圧給水ポンプにて各箇所に給水を行う。
既設システムを持続しながら、新設システムを施工し、断水期間を最小限にする。

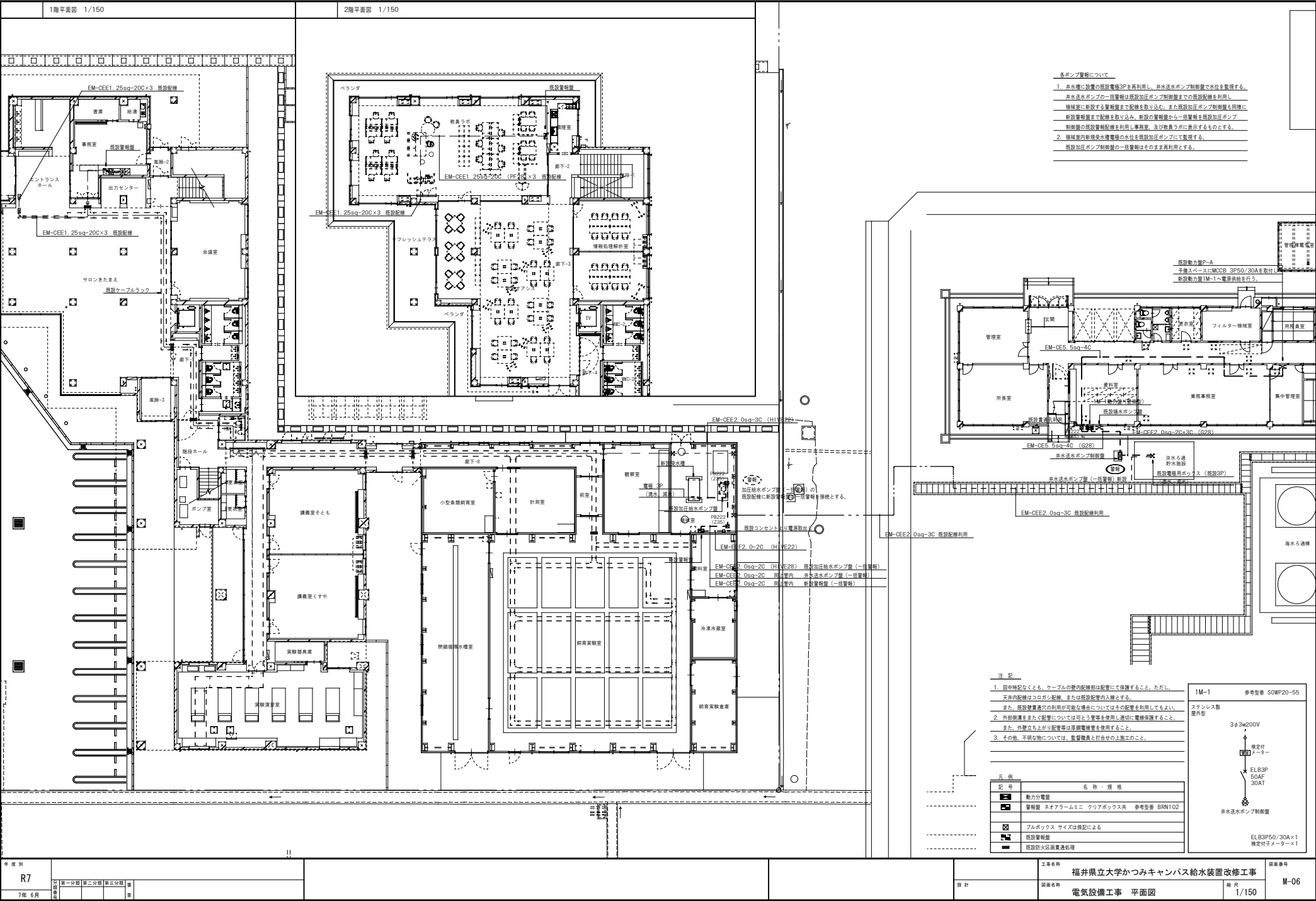


機 器 表						
記 号	名 称	機 器 仕 様			系統 (設置場所) 参考品番	社
TW-1J	受 水 槽	FRP製一体型	複合板	耐震 1.5G	機械室	1
		容 量 3.0 m3 (有効 2.48m3)			CS-3.0	
		受水槽寸法 2,000 × 1,000 × 1,570 H				
		マンホール 600φ (カギ付) 内外梯子付 平架台 (溶融亜鉛メッキ仕上)				
		各取出口 (入水口: 65A, 20A (BT)、出水口: 50A、溢水口: 50A、排水口: 30A)			電極室 通気口 標準付属舍	
		コンクリート基礎 H=500 (鉄筋D10@200ダブル 既存スラブ目尻より 差筋アンカー@200)				
P-1J	井 水 送 水 ポ ンプ	インバーター方式	ステンレス製	流井戸用 2台交互並列	屋外	1
		能 力	32 φ × 120L/min	10m × 0.75kW × 2 (3 φ 200V)	NF3-750W-P	
		標準付属品	制御盤	ポンプカバー	基 礎 H=200 (鉄筋D10@200ダブル 砕石H50 捨てコンH50)	



(R 6. 7改訂)

年度別 R7 7年 6月	<table border="1"> <tr> <td>3分 未満</td> <td>第一分組</td> <td>第二分組</td> <td>第三分組</td> <td>事</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				3分 未満	第一分組	第二分組	第三分組	事									工事名称 福井県立大学かつみキャンパス給水装置改修工事	図面番号 M-04
	3分 未満	第一分組	第二分組	第三分組	事														
計					図面名称 電気設備工事 特記仕様書1	期 次 1/NON													



- 各ポンプ室について
1. 井水ポンプに設置の高圧電圧3Pを既利用し、井水ポンプ制御盤で水位を監視する。
井水ポンプのポンプ室は既設加圧ポンプ制御盤までの低圧配電盤を利用し、
機械室に新設する警報室まで配線を取り込む。また既設加圧ポンプ制御盤も同様に
新設警報室まで配線を取り込み、新設の警報室から一括警報を既設加圧ポンプ
制御盤の高圧警報配線を利用し、警報室、及び教員ラボに表示するものとする。
2. 機械室内新設水位監視の水位も既設加圧ポンプにて監視する。
既設加圧ポンプ制御盤の一括警報はそのまま利用とする。

- 注 記
1. 図中特記なくとも、ケーブルの壁内配線は配管にて保護すること。ただし、
天井内配線はコロガシ配管、または既設配管内入線とする。
また、既設壁裏通孔の利用が可能な場合にはその配管を利用してよい。
 2. 外部配管をまたぐ配管については可とう管等を使用し適切に電線保護すること。
また、外壁立ち上がり配管等は厚鋼電線管を使用すること。
 3. その他、不明な物については、監督職員と打合せの上施工のこと。

記 号	名 称・規 格
動力分電盤	
警報盤	ネオアラームミニ クリアボックス共 参考型番 BRN102
ブルボックス	サイズは特記による
既設警報盤	
既設防火区画貫通処理	

